

オツボ峰保全作業

昨年の朝日山地合同パトロールにおいて、大鳥池からオツボ峰を經由して以東岳へ至るコース上で登山道から外れて歩行した跡やストックによる掘り起こしが見られる箇所がありました。

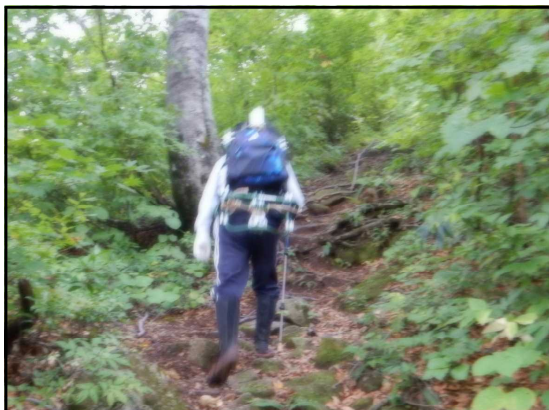
特にオツボ峰付近の稜線のガレ場で登山道が解りづらい箇所を確認されたことから、今年度の新たな取組として、杭を設置しロープを張って登山者を誘導するとともに植生の保護を行いました。

現地は、登山道口（鶴岡市泡滝）から6時間以上かかることから、前もって避難小屋へ荷揚げを行い、後日、避難小屋へ前泊して早朝から現地へ資材を運搬し、杭打ち、ロープ設置を行って作業を終えました。

荷揚げ（自身の体も）で体力が消耗し、疲労困憊で帰ってきました。

また、七曲りでは登山道を外れてショートカットする登山者がいるため山腹が荒廃している箇所があり、昨年に引き続きショートカットを規制するロープを設置しています。

◇ 荷揚げ



◇ ロープ設置



◇ ショートカット規制



